



小田小だより

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL045(775)3011

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/>

横浜市立小田小学校

地域と学校による“あたたかい”連携・協働

校長 中川 浩二

校庭の樹木は鮮やかな緑色になり、花壇のマーガレットは美しい花を咲かせ、つる性植物のアイビー（ヘデラ）は緑色の葉をどんどん増やしています。見ていると、いきいきとした生命力を感じます。

さて、5月14日、令和3年度第1回目の学校運営協議会を小田コミュニティハウスで行いました。地域の代表の方も出席されて、「地域と学校」について話題になりました。また、先日、地域の方からお褒めのお手紙をいただきました。それは、登校中の児童数名が、地域の方のご配慮に「ありがとうございます！」との礼儀正しい行動に対してです。今月は、この“地域”に視点をあてて、「地域と学校による連携・協働」について書いていきます。

右図は、本校と地域のイメージです。この中で、KCS（小田小地域コラボレーションシステム）は、読み聞かせ、小田っこ塾（キッズクラブの時に）1年生の給食手伝い、校庭の美化活動など多岐にわたりご協力をいただいています。今年度は、昨年度できなかった活動を順次再開しています。学援隊は、登下校時黄色のベストを着用し、毎日、悪天候時でも児童の安全の見守りをしていただいています。また、自転車マナーアップ大会に向けて児童へ熱心にご指導していただき、金沢区で過去4年間優勝しています。これらの地域との連携・協働を通して次のような教育的効果があると考えます。

- 児童への細やかな声かけや支援が、意欲を高め、自信につながります。
- 児童が地域に対して愛着をもち、感謝する気持ちを高められます。
- 教職員の手の行き届かないところをカバーしたり、知識・経験を生かしたり、学校の経営資源（リソース）の拡充が図れます。
- 今後を見据えた、地域と連携・協働した「持続可能な学校づくり」を推進できます。

【地域】

- ・学校運営協議会
- ・KCS 学援隊 など
- ・家庭

“あたたかい”
連携・協働

地域の財を生かした
教育活動の充実

【併設型小・中学校】

小田小学校・小田中学校

17 パートナシップで
目標を達成しよう



SDGs

子どもたちを取り巻く環境は、少子化、核家族化、価値観や生活様式の多様化、地域社会のコミュニティ意識の変化などがあげられています。このような社会的背景はありますが、地域と学校は、子どもたちの育成を共有しながら“あたたかい”をキーワードに連携・協働していくことが大切だと考えます。

地域のみなさまの、日頃よりの本校へのご支援に深く感謝申し上げますとともに、今後ともご協力のほど、よろしくお願いたします。

【小田小学校・小田中学校 学校運営協議会】

本協議会は、地域住民・学校協力者・保護者・学識経験者の代表の方など16名で構成され、教育活動についてご意見をいただき、今後に生かしていくための会です。3年前より小田小・小田中合同で実施しています。授業や行事（運動会など）の参観を含み、一年間で7回実施する予定です。

